



令和7年8月7日(木)から8月25日(月)の19日間、学術交流協定校であるニュージーランドEIT(EASTERN INSTITUTE OF TECHNOLOGY,HAWKE'S BAY)での研修が行われました。参加者8名で座談会を行いました。
【聞き手】有馬隆司 准教授/渡辺暁央 准教授/フェルナンド 特任准教授
3年2組：橋 結起乃 3年3組：大沢美波 3年3組：山平爽太 3年4組：遠藤蒼太 3年4組：川崎真悠 3年5組：近藤 暁 3年5組：三和晴登 4年3組：星野幹介

○参加しようと思ったきっかけは？

遠藤 昨年、一昨年、タイ研修とシンガポール研修に参加しました。今までアジア以外の国、南半球には行ったことがなかったこと、欧州風々の国に興味があったので参加しました。
川崎 1. 最初は英語を流暢に話せるようになりたいからでした。普段の生活で英語を使うことがあまり無く、もう少し話せるようになりたいと思っていたので参加しました。2. 日本は海外に行くと英語が話せない、海外を体験して日本では学べないことを学んでいきたいなと思ったからです。

星野 昨年、異文化交流キャンプに参加して、そこから英語クラブが留学生と関わる機会が増えて、海外に興味を持ち始めました。海外に行ってみたくて参加しました。自分が行けるような条件の研修プランだったので参加しました。
山平 今まで海外に行つたことが無く、純粋に海外に行きたかったからです。自分の世界観を広げたいと思っていました。もともと英語は好きな科目で話すのも学ぶのも好きでしたが、普段の授業の中で、スピーキング力を上げるという点にフォーカスする、なかなか向上しないので生きた英語を学ぶためにこの研修に参加しました。
近藤 以前、タイ・カセサート大学での研修に参加し、そこで更に海外に興味を持ちました。留学先のホームステイ経験もなかったので、今回の研修でホームステイしてみたいと考え参加しました。

大沢 4月頃まで全く海外に興味はなかったのですが、海外就職を考えている友達と話をし、「このまま海外を知らずに国内で就職してもいいか？」と思い、就職する前に一度海外に行きたいと思いました。4年生からは就活や研究、インターンシップなどで忙しくなりそうなので、今の時期が一番いいタイミングだなと思って研修に参加しました。
三和 自分の英語に対する見方も変化が欲しかったからです。日本で英語を学んで、実際に役に立つ経験があまりないという点で、英語が身の回りである環境で生活してみたいからです。また、4年生以降はインターンや学校行事で忙しく行くのは難しいなとも考えました。単位が修得できるという魅力でした。

橋 1年生のときに、学校の海外研修に参加して、色々な国に行ってみたくて参加したのがきっかけです。姉もニュージーランドに行ったことがあったので、去年はオーストラリアに行つたので、自分の中でハードルが低く、行ってみたい国だったので行くことを決めました。
有馬 英語面についてはどうでしたが、2週間ホームステイをして、現地での授業も受けて、上達したなという感覚はありましたか？
星野 ホストファミリーと頻りに話して色々な話を話したら、以前より英語を使うハードルが下がった気がします。文法

○研修を振り返って印象に残っていることは？

遠藤 パス通学の際に「満員」と表示が出て、スルーされちゃったこと。その時同じくEITに行く人がいて一緒に行動しようという話になり仲良くなって連絡先を交換したことがありました。
川崎 EITでの授業ですね。日本の学校では先生の板書を見ながら講義を聞きますが、EITでは学生主体で、学生が話して、先生が聞きながら授業を進めるような、学生と先生が一緒に授業をするようなスタイルでした。あまり体験したことないし、楽しかったです。すく印象的でした。
星野 1. 最初はHelloから始まり、「How are you?」と会話が始まって朝から気持ちがいい感じになりました。2. 自分は、先生がフレンドリーなところが好きです。事前研修で「あまり先生との上下関係がない」と調べていたので、それを実際に確かめました。遠征に行つたときも、日本だったら先生が「時間だから次行こう」と言う場面でも、僕たちの担当の先生は、「こちらが満足するまでこの場所に付き合ってくれて、面白いし、優しい。教えるのが上手い。山平 EITでは、英語を積極的に話す場面が多く、授業を聞かなくてもいいし、自分が伝えたいことを英語で話して先生に理解してもらって授業スタイルが多かったです。
近藤 ホストファミリーとの交流です。ホストファミリーに、僕と同じくらいの年代のお子さんが出て、その子と一緒にパドミントンやチェスをしたり、ホストファミリーが教会に行くの同行したりしました。中でも、最終日に僕がお好み焼きを日本料理として作って、喜んで食べてくれたことでもっとも嬉しかった印象に残っています。

大沢 到着して数日後、英語を書き練習にしようというからホストファミリーに手紙書いてみたこと、スタイ先が一緒に帰るからアパ
星野 靴はコンパクトなサンダルとかでもいいので、2足目が壊れた時に連絡手段にもなるので持っていく方が良さかと思えます。いざという時に役に立つ日用品類は、安心のためめに持って行った方がいいです。
大沢 英語力が不安で悩んでいる人は、沢山英語を勉強するのを持続するのが大切です。一生懸命に伝えたり、学んだりする姿勢はニュージーランドの人たちは見てくれているので大丈夫だと思います。
三和 当初のころ、一番英語力が低かったと思いますが、意外と知っている単語を組み合わせてなんとか伝えたりできたので、やる気があつたら行つてみることをおすすめします。持ち物面ではパスポート、クレジットカードは使えないので(片道約2100円)最低五千〜一万円は現金を持って行った方がいいかなと思います。パス以外だったらクレジットカードでいいのかなと思います。クレジットカードはVISAがおすすめです。
橋 EITでの授業は、クラスごとにかなり内容が違って、英語をのめりて勉強したい人は、事前テストを全力でやつた方がいいと思います。



イ入されて、それいいなと思って手紙を書きました。渡した次の日にその手紙が冷蔵庫に貼つてあつて、しかも手紙の文字全体を囲むようにめっちゃかわいいハートマークがカラムッキーで書いてあつたんです。めちゃ海外だなって愛情表現がストリートなんだな、なんて思いました。
三和 英語の発音が日本で習ったものよりだいぶ違っていました。簡単な単語も、最初は何と何と言っているのかわからないとかがありました。あと、実際に英語を話す時、翻訳アプリとかを併用すると早く話せました。ただ、音声入力しながら話す、相手の印象も良くないです。正しくても返答の速さなどは、パソコンで伝えている方が印象も良く、こちらの勉強にもなるなと感じました。
橋 私はニュージーランドの人たちの温かさがすく印象に残っていて、晴れた日に学校に歩いて行つた時、近所の人に「ドゥーニーング」っていう、快活な挨拶と笑顔を返してくれて、いいなって思っていました。学校でも先生や他の学生に挨拶すると必ず返してきて、少しだけでも色々な人と関わったのがとても嬉しかったです。
○研修に参加して得たものは？
遠藤 挑戦力です。三和くんと一緒にオランダ語の授業を受けに行つたり、知らない人ともほとんど会話や連絡先を交換できたりという行動力、実践力ですね。
川崎 英語のリスニング力とスピーキング力です。EITでもホストファミリーの家でも英語だったので、自分なりに解釈して理解し、言語化する能力が身についたかなと思います。あとは対応力ですね。ホームステイ先で、トラブルや文化の違いがあったんですけど、どう自分の英語で伝えるか、どうすればいいかという生活でできるかなんて考えて行動することができました。
星野 相手の話を聞く力と挑戦力がつきました。あと、今回の留学では食料を一切残さないという決意をしていました。野菜などが苦手ですが、ホストファミリーがすく料理上手で、苦手なものも頑張って食べていたら、意外と美味いと感じるものもあつて、日本へ帰つても食べられています。不安なことがあつたけど、決めたことを守つて恐れないうちでついたら、意外とできたことも多かつたので、挑戦することが楽しかったです。
山平 研修中、英語を沢山使つて話した結果、英語を話すハードルが低くなつて、自分が知らない単語とかが出てきても、ジェスチャーでどうにかして伝える力が身につきました。知らない土地に行き、文化・伝統が違つて中々生きているかなんていらない状況で、それにどう合わせていくか考える力を身につけました。
橋 自分の意見をアウトプットする力が身についたと思っています。動画を見てそれについて意見を書いたり、ディスカッションしたり、説明したりする授業が多くて、最初はうまく論理的に話せませんでした。文章を書くのがすく苦手でしたが、課題に取り組みすと、言葉を組み立てるのに話す、書くスキルが身につきました。
有馬 皆さん素晴らしいですね。困難なことや不安なことがあつてもチャレンジして乗り越えてきて、すく自信になると思います。国際交流だけでなく、これから色々な学校生活、社会生活で出てきたことを乗り越える自信になると思うので、良い経験になったと思います。

○今だから言える失敗
川崎 渡航前に英会話をもつ少し勉強しておけばよかったなと思っています。ホストファミリーの家に行つてから最初はホストファミリーが何を話しているのかわからなくて、困ることが多かったです。リスニング力を上げていれば、上手く話を聞けたんじゃないかなって思っています。
星野 携帯電話を国際ローミング方法で使っていました。ホームステイ先によってそれぞれ連絡方法が違つて、僕のローミングは電話番号でメールをする形式でした。国際ローミングは日本の電話番号がそのまま使えるので、国際ローミングの料金がかわつたら連絡しにくいと言われたのが悲しかったです。現地でSIMを買つて、現地の電話番号を取得したほうが良かったかとも思いました。
近藤 なんといってもスマホを壊したことです。現地に置いておいたまま、転んでスマホを壊してしまいました。その後自宅にあるパソコンからでないと、友達とも家族とも連絡が取れなくて迷惑をかけました。調べ物も大変でした。
大沢 1週間くらい経つた時に体調不良になり、夜は多分高熱が出ていて、頭が痛くて辛かったんですが、薬が足りま

○今回の経験を今後どのように活かしていきたい？
遠藤 海外に興味があるので、他の海外研修やプロジェクトがあったら積極的に参加してみたいです。どういった文化があるのか知り、現地の人と交流したいです。
川崎 英語を沢山学んだので、上げた能力を普段の授業やテストなどでもしっかり役立てたいです。あとは、もう少し将来の仕事で海外行くこともあると思うので、その時自分の言葉で話せるようになりたいなと思っています。
星野 今回の研修で、異文化交流の楽しさを知ることができたので、これからは機会があるなら国際交流に積極的に参加してみたいなと思います。不安を感じても、続けて行けば楽しさや成功とかを実感できるので今後も挑戦し続けたいなと考えています。
山平 この研修を通して、ある程度英語は話せるようになる

なつたと思うので、これからも積極的に英語を話してみたいなと思います。同じクラスに留学生がいるので、その国の文化とか伝統とか聞いて調べてみたいと思います。
近藤 僕と橋さんと聞いて、インターンシップクラブという新しい同好会を作りました。今回の経験を同好会で伝えていきたいです。授業の雰囲気もとても好きだったので、同好会でも活用して行きたいなと思います。また、新しい環境に飛び込んでもなんとかがささうという自信が、ついたら今後はもっと色々なことに挑戦していけたらなと思っています。
三和 今まで以上に、英語が話せることはメリットになるなと感じたので、英語の本や商品にも逃げずにしっかりと向き合っていけたらと思います。
橋 私はEITにすく大好きな先生がいて、その先生が最終日のお別れパーティーのあとに「すく勉強頑張つたの知ってるよ。もし、あなたが何かしたいことがあつても、絶対に乗り越えられるよ」と嬉しい言葉をもらつて、一生懸命頑張つたら絶対に良いことが起きると、こういうことを経験できました。なので、英語の同好会も始めて色々なこと全力でチャレンジしようと思いました。

○これから研修に参加する人のアドバイス
遠藤 何かしたい、やりたいって思った時には、とにかくやりたい事を伝えて、行動してみることが大事だと思います。未知の文化体験や現地の学生との交流が生まれたことでもあるので、もう、ぶつこちやえってアドバイスをしたいです。
星野 最初は不安になるっていう覚悟は必要かもしれないですね。自分は寮生でもなく、初めの海外で、ステイ先も一人派遣だったので、最初は不安要素しかありません。英語だけの生活で、滞在日数も20日近くあり、先が見えなくて不安が大きかったです。しんどいけど、皆とも仲良くなれて、最終的にはすく楽しい経験ができました。持ち物は、マイホテルを持って行った方がいいかなと思います。現地の水は高価ですが、給水スポットは多いです。
山平 留学前は色々な不安があると思うんですが、それを超えた先には楽しさがあるので、それを目標に留学するつもりで思っています。

○生活習慣や衛生面で違うと感じたことは？
【水を大切にしていること】
●シャワーを10分で済ませているところ。お風呂に入りたいな、もうちょい浴びたいな、とは思いましたが遠慮しました。
●水を飲むときも今必要な分だけ飲む感じで、とにかく資源を大切にしている国だなと感じました。
●1日の食器を夜にまとめて洗います。シンクにお湯を溜めたところに食器を入れて、洗剤を入れてブラシでこすり、最後はゆすがずタオルで拭いて終わりです。
○ネイピアでのおすすめスポットは？
テ・マタ・ピーク
絶景を楽しめる丘
アラタキハニー
蜂蜜工場
兼ビジターセンター
展示・直売・製品の試食ができる



○今だから言える失敗
川崎 渡航前に英会話をもつ少し勉強しておけばよかったなと思っています。ホストファミリーの家に行つてから最初はホストファミリーが何を話しているのかわからなくて、困ることが多かったです。リスニング力を上げていれば、上手く話を聞けたんじゃないかなって思っています。
星野 携帯電話を国際ローミング方法で使っていました。ホームステイ先によってそれぞれ連絡方法が違つて、僕のローミングは電話番号でメールをする形式でした。国際ローミングは日本の電話番号がそのまま使えるので、国際ローミングの料金がかわつたら連絡しにくいと言われたのが悲しかったです。現地でSIMを買つて、現地の電話番号を取得したほうが良かったかとも思いました。
近藤 なんといってもスマホを壊したことです。現地に置いておいたまま、転んでスマホを壊してしまいました。その後自宅にあるパソコンからでないと、友達とも家族とも連絡が取れなくて迷惑をかけました。調べ物も大変でした。
大沢 1週間くらい経つた時に体調不良になり、夜は多分高熱が出ていて、頭が痛くて辛かったんですが、薬が足りま

○生活習慣や衛生面で違うと感じたことは？
【水を大切にしていること】
●シャワーを10分で済ませているところ。お風呂に入りたいな、もうちょい浴びたいな、とは思いましたが遠慮しました。
●水を飲むときも今必要な分だけ飲む感じで、とにかく資源を大切にしている国だなと感じました。
●1日の食器を夜にまとめて洗います。シンクにお湯を溜めたところに食器を入れて、洗剤を入れてブラシでこすり、最後はゆすがずタオルで拭いて終わりです。
○ネイピアでのおすすめスポットは？
テ・マタ・ピーク
絶景を楽しめる丘
アラタキハニー
蜂蜜工場
兼ビジターセンター
展示・直売・製品の試食ができる

フェルナンド 皆さんの話を聞いて、色々成長できたのではないかと思います。留学はこの年代が一番良いですね。海外でのホストファミリーとのやり取りやその他の経験は、英語が関係することだけじゃなくて、様々な刺激になるので、今後学生生活が忙しくなったりしますが、これからまた学校で国際関係のイベントを企画しているので、機会があればまた参加してください。
渡辺 皆さん、英語が十分できますので自信を持ってください。国際交流で使う会話はいわゆる中学英語程度で十分成立します。たまに分らない言葉もありますが、そこは前後の会話で、こんなこと言ってるんだろうなって文脈から予測することに対応できます。恐らく皆さん帰国の際に「日本に帰ってから英語を使う環境にしてください。じゃないとすぐ忘れちゃいますよ」と言われたと思います。せっかく今英語に触れられる機会がありますので、今回の留学を契機に、英語に関わる環境を日常的にどう取り入れるか、と考えてみてください。